

# カネシメHDが輸出新会社

## 道産食品をアジアや欧州へ

【札幌】カネシメホールディングス（HD、本社・札幌市、高橋清一郎社長）はこのほど道産食品輸出の新会社「TASTE OF HOKKAIDO（テイスト・オブ・ホッカイドウ）」を設立した。資本金は1000万円。社長はHDおよびカネシメ高橋水産の高橋社長が兼務する。



高橋清一郎社長

務、製造施設の運営、加工機器製造・輸出入・卸売などを掲げる。

強みを持つ道産水産物・加工品の他、コメ、農畜産加工品、乳製品、スイーツ、ワイン、日本酒などを欧州連合（EU）やアジアのマーケットに輸出する。

今月1日に法人登記。主要事業は水産物、農畜産物、加工食品、酒類等、食品全般の輸出入および販売業務。関連の技術指導やコンサルティング業

高橋社長は「道内にも旺盛なインバウンド消費



「TASTE OF HOKKAIDO」のロゴ

が戻ってきたが、帰国後は手に入りづらい。特にEUは規制が厳しく、中小メーカーにとって輸出のハードルが高い。新会社は課題解決をサポートしつつ、グループが培ってきたノウハウや情報網を駆使して輸出拡大に貢献したい。独自のブランドの商品開発も視野に入りたい」と抱負を語る。

現在、カネシメ高橋水産で輸出を担う広域事業部事業開発課の一部業務の移管、HD東京事務所との連携強化を進め、新年度から本格的に事業をスタート。5年後をめどに売上高15億円を目標にする。

HD中核会社のカネシメ高橋水産は来年4月創

業100周年を迎える。

1960年代から海外事業に乗り出し、2000年代に漁業水域規制前後の70〜80年代に北米や欧州などに赴き、エビやサバ、カズノコなどの開発輸入を強化し、国内に供給してきた。

当時培った欧州水産会社との信頼関係、米国やアジア輸出での現地企業

との良好な取引関係を新会社にも生かし、「グループの節目に水産にとどまらない北海道の『食』を発信する企業を目指す」（高橋社長）と話している。

「TASTE OF HOKKAIDO」はホームページ（<http://tasteofhokkaido.co.jp>）を公開している。

